

厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業)
「地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究」
分担研究報告書(令和6年度)

日本の地域別将来推計人口と患者調査を用いた日本における患者数の推計

研究協力者 平石 達郎 奈良県立医科大学
研究分担者 佐藤 拓也 東京大学医学部附属病院
研究分担者 明神 大也 奈良県立医科大学
研究分担者 西岡 祐一 奈良県立医科大学
研究分担者 石川 ベンジャミン 光一 国際医療福祉大学
研究分担者 今村 知明 奈良県立医科大学

研究要旨

2020年からの新型コロナウイルス感染症流行等により、出生率が低下し死亡率が上昇したことで人口動態変化が加速し、患者構造に影響が及んでいる可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症が人々の受療行動に変化をもたらしたことで、将来の医療需要の予測が難しくなった。本研究では、最新の推計人口に基づく患者数と新型コロナウイルスによる患者数変化を示し、今後の政策立案の一つの材料として活用できる基礎資料を作成することを目的として推計を実施した。

A. 研究目的

厚生労働省は、医療計画や地域医療構想を検討する上で、患者調査(平成29年)の「入院受療率(人口10万対)、性・年齢階級×傷病分類」及び「推計患者数(患者所在地)、性・年齢階級×傷病大分類×入院-外来・都道府県別」並びに国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」を用いて直近の患者数を推計¹⁾している。しかしながら2020年からの新型コロナウイルス感染症(以下「COVID-19」という。)流行は出生率や死亡率等の人口動態や患者受療率に変化をもたらした可能性がある。

人口動態においては、人口動態統計(確定数)²⁾を見ると、2020年から2022年にかけて出生率は減少しており、死亡率は上昇している。死亡率はもともと上昇傾向であったものの、国立感染症研究所の分析³⁾では、2020年1月から2021年7月までの累積超過死亡数は

累積過小死亡数を下回っていたが、2021年8月以降の累積超過死亡数は累積過小死亡数を上回っていた。これらの人口動態変化は患者数推計にも影響する可能性がある。

患者受療率においては、患者側の受診控え⁴⁾や、医療機関側の医療提供サービス制限の影響⁵⁾により患者数が減少したことが示唆されているが、長期的な実態は明らかになっていない。

以上から、これまでに発表された患者数推計では将来の医療需要の予測が難しい状況にあり、改めて患者数推計を実施する必要がある。そこで本研究では、人口動態変化や受療行動変化による医科患者数推移を明確にすることを目的とし、COVID-19流行前、流行中、流行後に発表された公的データを用い、都道府県別、年齢階級別、入院外来別に患者数を推計した。

なお、本研究は令和5年度同研究課題の分担研究報告書にも概要を掲載したが、詳細版として令和6年度に再度報告を行うものである。

B. 研究方法

本研究では、厚生労働省が公表している患者調査における入院・外来受療率と、社会保障・人口問題研究所が公表している都道府県別推計人口を用いて患者数を推計した。

(1) 用いたデータ

患者の受療行動を表す受療率は、COVID-19 流行前と COVID-19 流行中の 2 種類の患者調査の結果を用いた。前者は COVID-19 流行前に実施した①2017 患者調査「下巻第 16 表 受療率（人口 10 万対）、入院－外来・施設の種類×性・年齢階級×都道府県別」（以下「2017 患者調査」という。）9)である。後者は COVID-19 流行中に実施した②2020 患者調査「都道府県編 閲覧第 31 表 受療率（人口 10 万対）、入院－外来（初診－再来）・施設の種類×性・年齢階級（10 歳）×都道府県別（以下「2020 患者調査」という。）」10)である。このうち、病院と一般診療所における、都道府県別、男女別、10 歳刻みの年齢階級別（0～4 歳と 75 歳以上区分も含む）の人口 10 万人あたりの入院受療率及び外来受療率を用いた。

推計人口は、COVID-19 流行前と COVID-19 流行後の 2 種類のデータを用いた。前者は COVID-19 流行前の③日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）「男女・年齢（5 歳）階級別の推計結果一覧」（以下「2018 推計人口」という。）11)である。後者は COVID-19 流行後の④日本の地域別推計人口「都道府県・市区町村の男女・年齢（5 歳）階級別将来推計人口」（以下「2023 推計人口」という。）12)である。このうち、都道府県別、男女別、5 歳刻みの年齢階級別（90 歳以上区分を含む）の 2020 年から 2045 年の出生率中位・死亡率中位推計人口を用いた。

(2) 推計方法

上記データを用い、1)最新の推計人口に基づく患者数推移、2)推計人口変化による患者数変化、3)COVID-19 による患者数変化の 3 つを集計した。

はじめに、2017 患者調査と 2020 患者調査、2018 推計人口と 2023 推計人口の年齢階級区分が異なるため、推計人口の 5 歳刻みの年齢階級区分を、患者調査の 10 歳刻み年齢階級区分に合わせた。その後、数式 1 の方法により推計した。

なお 2020 患者調査は、患者側の受診控え 7) や医療機関側の医療提供サービス制限 8) による患者数減少の影響を受けている可能性があることから、2017 患者調査を用いて 1)・2) を推計した。また、患者数推計は全て 2020 年から 2045 年の 5 年刻みで算出、比較した。

本研究で用いたデータはいずれも統計処理された公表データであるため、倫理的配慮を必要としない。

数式 1

A 都道府県別推計人口

B 都道府県別入院受療率

C 都道府県別外来受療率

i 推計調査年（2017 患者調査、2020 患者調査、2018 推計人口、2023 推計人口）

$$A_{ijk} : A_{2018jk} \text{ or } A_{2023jk}$$

$$B_{ijk} : B_{2017jk} \text{ or } B_{2020jk}$$

$$C_{ijk} : C_{2017jk} \text{ or } C_{2020jk}$$

j 年齢階級（1=0-4、2=5-14、・・・、9=75 歳以上）

k 都道府県番号（*k*=1、2、3、4、・・・、47）

都道府県別年齢階級別入院患者数：

$$I_{jk} = A_{ijk} B_{ijk}$$

$$\text{都道府県別入院患者数} : \sum_{j=1}^9 I_{jk}$$

$$\text{全国入院患者数} : \sum_{k=1}^{47} (\sum_{j=1}^9 I_{jk})$$

都道府県別年齢階級別外来患者数：

$$O_{jk} = A_{ijk} C_{ijk}$$

都道府県別外来患者数： $\sum_{j=1}^9 O_{jk}$

全国外来患者数： $\sum_{k=1}^{47} (\sum_{j=1}^9 O_{jk})$

Model 1：2017 患者調査、2023 推計人口

$A_{ijk} : A_{2023jk}$

$B_{ijk} : B_{2017jk}$

$C_{ijk} : C_{2017jk}$

Model 2：2017 患者調査、2018 推計人口

$A_{ijk} : A_{2018jk}$

$B_{ijk} : B_{2017jk}$

$C_{ijk} : C_{2017jk}$

Model 3：2020 患者調査、2023 推計人口

$A_{ijk} : A_{2023jk}$

$B_{ijk} : B_{2020jk}$

$C_{ijk} : C_{2020jk}$

C. 研究結果

それぞれの結果を以下に示す。

(1) COVID-19 流行後の推計人口に基づく患者数推計

全国入院患者数は 2030 年の 1,443,390 人まで増加し、その後減少に転じた。全国外来患者数は 2025 年の 5,866,071 人まで増加し、その後減少に転じ、減少率は年次が進むとともに増加した

(図 1)。

2045 年の都道府県別の入院患者数は、2020 年に比べて 22 県が増加し、25 県が減少していた。増加率の最高は沖縄県の 29.76%、減少率の最高は秋田県の 18.17%であった。患者数が最大値に達する時期は都道府県により異なり、2020 年に 1

県、2025 年に 8 県、2030 年に最多の 29 県、2035 年に 2 県で、残りの 7 県は 2045 年まで増加を続けた。2045 年の都道府県別外来患者数は、2020 年に比べて 7 県が増加し、残り 40 県は減少していた。増加率の最高は沖縄県の 12.47%、減少率の最高は秋田県の 27.28%であった(表 1)。入院と同様、患者数が最大値に達する時期は都道府県により異なり、2020 年に最多の 31 県、2025 年に 7 県、2030 年に 3 県、2035 年に 1 県、2040 年に 2 県で、残りの 3 県は 2045 年まで増加を続けた。

(2) 推計人口変化による患者数比較

全国入院患者・外来患者の総数の推計は、2018 推計人口と 2023 推計人口いずれも同じ傾向を示した。具体的には、全国入院患者数は 2030 年まで増加し、その後減少に転じた。全国外来患者数は 2025 年まで増加し、その後減少に転じた。入院・外来患者数が減少に転じて以降の減少の加速率は、2018 推計人口と比べて 2023 推計人口を用いたほうが穏やかだった(図 2)。

また年齢階級別にみると、0~4 歳入院患者数と 75 歳以上入院患者数は全ての年において 2018 推計人口に比べて 2023 推計人口の方が少なくなった。5~14 歳の入院患者数は、2020 年を除いて、2023 推計人口の方が少なくなった。一方、25~64 歳の入院患者数は 2023 推計人口の方が多くなった。0~4 歳の外来患者数は全ての年において 2018 推計人口に比べて 2023 推計人口の方が少なくなった。5~14 歳の外来患者数は 2020 年を除き、75 歳以上の外来患者数は 2045 年を除いて、2023 推計人口の方が少なくなった。25~64 歳の外来患者数は 2023 推計人口の方が多くなった(表 2)。

(3) COVID-19 による患者数変化

全国の 2020 年の入院患者数は、2017 患者調査では 1,340,542 人、2020 患者調査では 1,207,181 人であり、133,361 人少なかった。2025 年以降の入院患者数については、2020 患者調査が 2017 患者調査と比べて少なかった。外来患者数においては、2020 年の全国外来患者数は 2017 患者調査では 5,828,601 人、2020 患者調査では 5,751,051 人と、77,550 人少なかった。2025 年以降の外来患者

数についても、2017 患者調査より 2020 患者調査の方が少なかった（図 3）。

2020 年の都道府県別の入院患者数は、全ての都道府県で 2020 患者調査が 2017 患者調査を下回っていた。減少率の最低は秋田県の 1.06%、最高は石川県の 18.84%であった。外来患者数では、2020 患者調査が 2017 患者調査を上回ったのが 15 県、下回ったのが 32 県であった。増加率の最高は静岡県県の 11.57%、減少率の最高は宮城県県の 20.60%であった（表 3）。

D. 考察

COVID-19 流行後の推計人口に基づく患者数推計では、入院は 2030 年、外来は 2025 年を頂点として減少局面に入り、特に外来は 2030 年以降急激に減少する結果となった。推計人口の変化による患者数比較では、一部の年齢階級を除いて 2018 推計人口に比べて 2023 推計人口が多い結果となった。COVID-19 による患者数変化では、一部の都県の外来患者数を除き、入院・外来患者数が減少していた。

COVID-19 流行後の推計人口に基づく患者数推計では、都道府県によって差はあるものの、多くの都道府県ですでに外来患者数は減少しており、また 2030 年までには多くの都道府県の入院患者数が減少に転じることが示唆された。今後の受診率や疾病の発生状況にもよるが、減少するのは間違いないと思われる。

次に推計人口変化による患者数比較について、2023 推計人口による患者数が 2018 推計人口による患者数を上回っていたが、その理由としては 2023 推計人口に外国人入国超過数を考慮している⁶⁾ためと考えられた。特に、外国人流入が 2035 年以降の外来患者数の差に影響している可能性がある。表 1 で上位に位置する都道府県と出入国管理庁「都道府県別 在留外国人推移」⁷⁾の上位に位置する都道府県はほぼ同一であり、都道府県差も示された。今後、増加する外国人患者に合わせた医療提供体制整備も求められるかもしれない。しかし、当該外国人には永住者だけでなく帰国す

る可能性がある技能労働者等も含まれていることから、推計人口通りの患者数増加にはならない可能性もある。

そして COVID-19 による患者数変化について、令和 4 年医療施設調査⁸⁾によると、全国に 8,156 存在する病院のうち、200 床以上を有する割合は 30%、400 床以上を有する割合はそのうち 9.2%にとどまっていた。医師や看護師等専門職員の不足が医療提供サービスを制限していることを示唆する文献も見られる⁵⁾。そのため、患者数減少は受診控えといった患者側の要因⁴⁾だけでなく、医療機関側の体制にも起因する可能性が挙げられる。また、患者調査の外来受療率では、COVID-19 感染蔓延中の 2020 年のほうが、2017 年より上回っている都道府県が数県存在していた。患者調査は抽出された医療機関の回答により算出されるため、患者調査の手引き⁹⁾により詳細な説明がなされている。しかし、同一患者の転院など患者数の定義付けが難しく、医療機関の回答が誤っている可能性もある。調査の制度を向上させるためにも、日本における全保険請求情報の 95%が集められている NDB オープンデータ¹⁰⁾を用いた受療率算出など、調査の標準化を図る必要があると考えられた。

本研究以前に人口と入院・外来の受療率を用いて患者数推計を実施したものは少ない。一方、研究目的で記載したとおり、厚生労働省の最新の公表資料では、2018 年推計人口と 2017 年受療率を用いて患者数を推計している。推計は二次医療圏単位で行われているため単純比較は難しいが、例えば大阪府の大部分の医療圏における入院患者数最大値到達時期を 2035 年もしくは 2040 年以降と推計している。しかしながら、2023 年推計人口を用いた本研究による大阪府の入院患者数は 2030 年がピークになる結果となっており、患者数推計の変化を明確にしたという点で本研究は意義深いと考えられる。

本研究の限界を以下に挙げる。第一に、患者調査の受療率を一定と仮定している点であり、将来の受療率と大きく乖離すると患者数推計にも大

きな差が生じる可能性がある。第二に、推計人口が5年に一度実施される調査を基準としている点であり、本研究では出生率中位・死亡率中位を用いたものの、今後の出生率低下や死亡率上昇は否定できない。さらに、前述のとおり外国人入国超過数の影響も大きく、将来の国際情勢により大きく変動する可能性がある。第三に、今後の新たな感染症流行により、受療率が大きく変動し患者数にも影響する可能性がある。しかしいづれにしても、患者調査・推計人口ともに公的統計であることから、本研究結果は今後の医療政策立案に資する一つの有益な資料であると考えられる。

E. 結論

2023年の推計人口は外国人入国超過数の影響を大きく受けており、現実との乖離は懸念されるものの、本研究では最新の推計人口と患者調査の受療率を用いて患者数推計を実施した。引き続きより簡便で精度の高い統計調査方法を模索し、継続的に患者数推計を実施していく必要がある。

F. 健康危険情報

G. 研究発表

1. 論文発表

平石達郎、明神大也、西岡祐一、石川ベンジャミン光一、今村知明. 日本の地域別将来推計人口と患者調査を用いた日本における患者数の推計. 厚生 の 指 標. 2025 Apr;72(4).

2. 学会発表

特に無し

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特に無し

2. 実用新案登録

特に無し

3. その他

特に無し

参考文献

1. 厚生労働省. 令和4年3月4日 第7回第8次医療計画等に関する検討会 参考資料2
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24045.html
(2025年1月4日アクセス)
2. 厚生労働省. 人口動態調査 人口動態統計(確定数)の概況
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html>
(2025年1月4日アクセス)
3. 国立感染症研究所. 我が国における超過死亡数および過少死亡数 専用のダッシュボード
<https://exdeaths-japan.org/>
(2025年1月4日アクセス)
4. 園山(大迫)理江, 奥井達雄, 辰巳博人, 他. コロナ禍の受診控えにより悪性転化を来した舌癌の1例. 癌と化学療法
2022;49(13):1758-61
5. 安原洋, 矢富裕, 高階雅紀, 他. 病院の医療機器と職員の体制が新型コロナウイルス患者受入れに与える影響. 医療機器学
2023; 93(5):585-93
6. 厚生労働省. 第22回社会保障審議会人口部会資料 令和4年10月31日
<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001006302.pdf>
(2025年1月4日アクセス)
7. 出入国在留管理庁. 令和4年度末現在における在留外国人数について
https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00033.html
(2025年1月4日アクセス)
8. 厚生労働省. 令和4(2022)年医療施設(動態)調査・病院報告の概況
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/22/>
(2025年1月4日アクセス)

9. 厚生労働省. 令和 5 年患者調査 調査の手引き

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/10->

[20_tebiki-h_2023.pdf](https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/10-20_tebiki-h_2023.pdf)

(2025 年 1 月 4 日アクセス)

10. 厚生労働省. 第 1 回 NDB オープンデータ

【解説編】

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou->

[12400000-Hokenkyoku/0000141549.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12400000-Hokenkyoku/0000141549.pdf)

(2025 年 1 月 4 日アクセス)

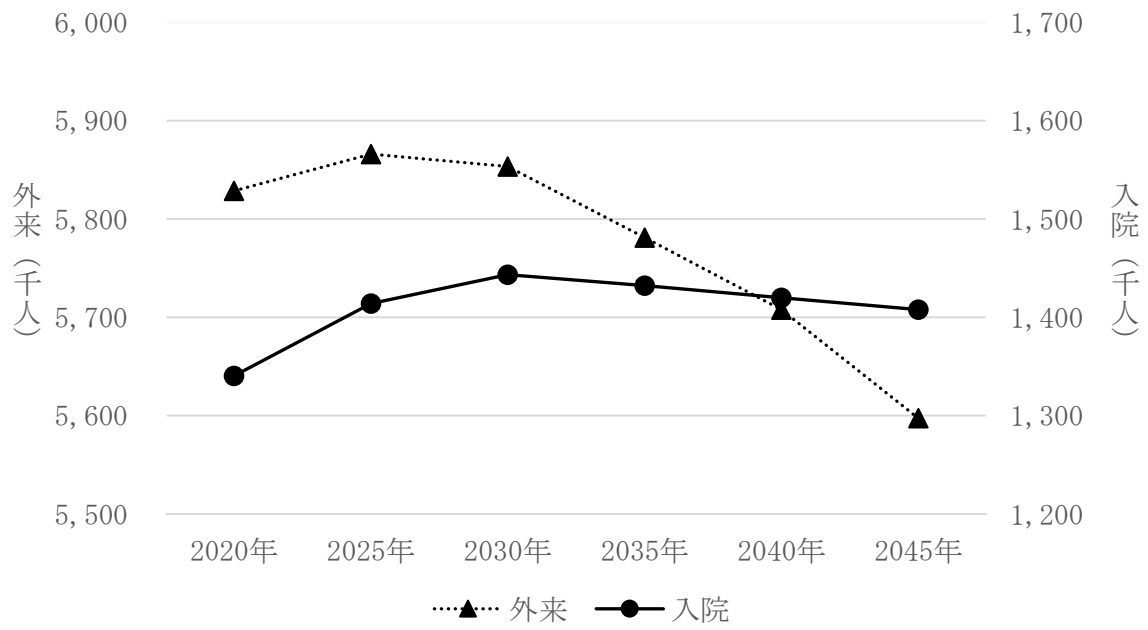


図1 2023 推計人口に基づく全国患者数推移

	入院患者数			外来患者数		
	2020年	2045年	増減率	2020年	2045年	増減率
北海道	81,723	81,581	-0.17%	229,249	197,349	-13.91%
青森県	14,016	12,484	-10.93%	66,049	50,775	-23.13%
岩手県	13,643	12,039	-11.76%	57,473	46,164	-19.68%
宮城県	19,793	21,395	8.09%	111,681	107,213	-4.00%
秋田県	11,816	9,669	-18.17%	46,522	33,833	-27.28%
山形県	12,078	10,702	-11.40%	51,897	41,755	-19.54%
福島県	18,950	18,039	-4.80%	83,326	69,592	-16.48%
茨城県	26,340	27,653	4.98%	120,873	112,430	-6.99%
栃木県	18,459	19,511	5.70%	92,616	87,008	-6.06%
群馬県	19,721	20,446	3.68%	85,227	78,541	-7.84%
埼玉県	58,387	67,028	14.80%	308,482	318,235	3.16%
千葉県	49,215	55,185	12.13%	266,360	270,956	1.73%
東京都	106,146	128,771	21.31%	606,895	681,307	12.26%
神奈川県	68,446	81,049	18.41%	406,100	432,342	6.46%
新潟県	24,151	22,379	-7.34%	93,646	77,632	-17.10%
富山県	14,490	13,793	-4.81%	45,731	39,342	-13.97%
石川県	15,221	15,801	3.81%	48,470	44,605	-7.97%
福井県	9,579	9,548	-0.32%	35,223	30,950	-12.13%
山梨県	8,857	9,122	3.00%	36,432	32,472	-10.87%
長野県	19,653	19,588	-0.33%	87,624	78,767	-10.11%
岐阜県	18,013	17,792	-1.23%	102,536	91,380	-10.88%
静岡県	32,231	33,074	2.61%	155,675	143,398	-7.89%
愛知県	59,426	67,379	13.38%	361,394	374,378	3.59%
三重県	17,508	17,401	-0.61%	87,086	77,983	-10.45%
滋賀県	12,969	15,434	19.01%	59,974	61,653	2.80%
京都府	29,262	31,128	6.38%	110,073	104,183	-5.35%
大阪府	92,485	97,888	5.84%	414,710	404,592	-2.44%
兵庫県	58,741	62,581	6.54%	270,971	257,261	-5.06%
奈良県	14,469	14,653	1.27%	51,787	46,048	-11.08%
和歌山県	11,630	10,685	-8.12%	50,985	41,902	-17.81%
鳥取県	7,039	6,698	-4.85%	26,367	22,472	-14.77%
島根県	9,017	8,079	-10.41%	35,743	29,749	-16.77%
岡山県	22,826	22,751	-0.33%	92,573	83,887	-9.38%
広島県	33,973	34,653	2.00%	128,887	120,622	-6.41%
山口県	23,666	21,090	-10.88%	75,830	61,478	-18.93%
徳島県	12,008	11,109	-7.49%	36,855	30,667	-16.79%
香川県	12,299	11,817	-3.92%	56,426	50,084	-11.24%
愛媛県	18,675	17,516	-6.21%	66,536	56,701	-14.78%
高知県	15,028	13,473	-10.35%	33,905	26,981	-20.42%
福岡県	76,365	83,865	9.82%	261,499	256,970	-1.73%
佐賀県	13,325	13,413	0.66%	48,944	44,160	-9.78%
長崎県	24,277	22,352	-7.93%	76,614	62,512	-18.41%
熊本県	31,075	31,087	0.04%	95,441	86,500	-9.37%
大分県	19,234	18,197	-5.39%	51,665	44,798	-13.29%
宮崎県	16,292	15,689	-3.70%	55,437	48,547	-12.43%
鹿児島県	30,271	29,275	-3.29%	84,625	73,986	-12.57%
沖縄県	17,755	23,038	29.76%	56,186	63,192	12.47%

表1 2020年を基準とした2045年の都道府県別患者数増減率

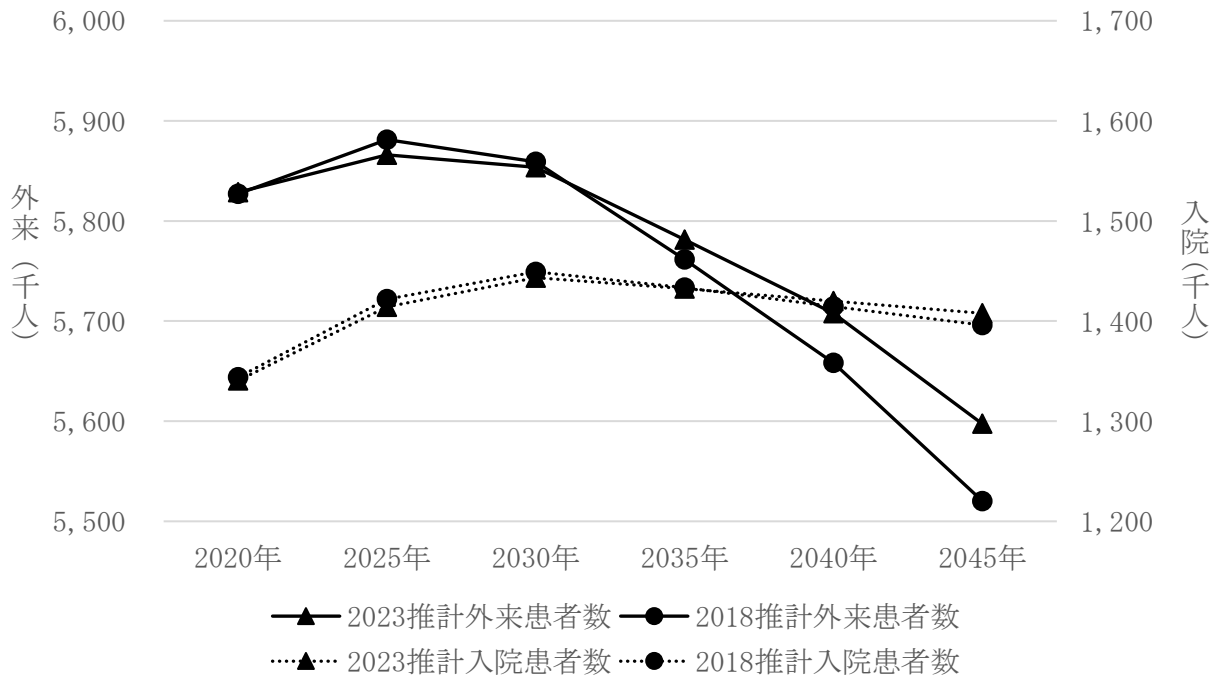


図2 推計人口変化による患者数推移比較

入院	0-4歳患者数			5-14歳患者数			15-24歳患者数			25-34歳患者数			35-44歳患者数		
	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差
2020	17,234	16,506	-729	9,252	9,393	141	15,923	16,213	290	33,330	34,094	765	47,826	48,443	617
2025	15,677	14,351	-1,326	8,722	8,649	-73	14,942	15,353	410	32,268	33,134	866	42,007	42,854	847
2030	15,026	14,018	-1,008	8,098	7,605	-493	14,106	14,716	611	31,225	32,685	1,459	38,181	39,239	1,058
2035	14,453	13,886	-566	7,547	6,983	-564	13,317	13,594	276	29,365	31,482	2,117	37,098	38,425	1,327
2040	13,745	13,331	-414	7,237	6,856	-380	12,367	12,015	-352	27,767	30,266	2,499	35,954	37,953	2,000
2045	12,990	12,575	-415	6,913	6,680	-232	11,523	11,037	-486	26,227	28,083	1,857	33,851	36,584	2,733
入院	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差
2020	86,199	86,816	617	132,819	133,344	525	259,592	258,935	-658	741,692	736,799	-4,893			-3,326
2025	84,454	85,374	920	139,011	139,900	889	223,122	223,278	156	861,677	851,316	-10,361			-7,671
2030	73,120	74,314	1,194	152,444	153,904	1,460	210,942	211,873	931	906,086	895,035	-11,051			-5,839
2035	64,321	65,840	1,520	149,390	151,446	2,056	222,289	223,917	1,628	895,707	886,847	-8,860			-1,067
2040	58,591	60,433	1,841	129,515	132,016	2,500	244,806	247,491	2,685	884,600	879,571	-5,029			5,350
2045	57,042	59,293	2,251	114,168	117,245	3,077	239,897	243,597	3,700	893,281	892,801	-480			12,005
外来	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差
2020	298,579	286,056	-12,523	288,057	292,716	4,659	185,594	189,014	3,420	284,039	291,951	7,912	394,063	399,272	5,209
2025	272,076	249,273	-22,803	272,137	270,391	-1,746	174,556	179,300	4,744	276,790	286,121	9,332	346,627	354,459	7,832
2030	261,192	243,814	-17,377	253,082	238,515	-14,568	164,932	172,245	7,313	269,197	282,621	13,424	315,901	327,053	11,153
2035	251,547	241,986	-9,560	236,374	219,812	-16,562	155,852	159,546	3,694	253,744	272,293	18,549	308,596	322,573	13,977
2040	239,574	232,677	-6,897	227,193	216,530	-10,663	144,945	141,495	-3,450	240,205	262,430	22,225	300,608	318,959	18,351
2045	226,736	219,878	-6,858	217,524	211,456	-6,069	135,249	130,442	-4,807	227,103	244,137	17,034	283,778	307,684	23,905
外来	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差	2018 推計	2023 推計	差
2020	571,455	575,732	4,277	684,606	687,577	2,971	1,236,134	1,232,797	-3,337	1,884,726	1,873,486	-11,240			1,347
2025	558,206	564,105	5,898	726,644	731,802	5,158	1,059,118	1,059,873	754	2,195,135	2,170,748	-24,387			-15,219
2030	482,321	490,173	7,852	800,135	807,708	7,573	1,009,695	1,014,841	5,146	2,302,792	2,276,573	-26,218			-5,704
2035	424,633	435,664	11,031	781,670	791,587	9,917	1,076,024	1,084,988	8,964	2,273,187	2,252,787	-20,401			19,608
2040	387,479	402,377	14,897	676,236	688,746	12,511	1,188,808	1,202,280	13,472	2,253,094	2,242,423	-10,671			49,774
2045	378,911	397,069	18,158	596,392	613,370	16,978	1,161,721	1,179,081	17,360	2,292,839	2,294,236	1,397			77,100

表2 推計人口変化による年齢階級別患者数比較 (正:2023が増加, 負:減少)

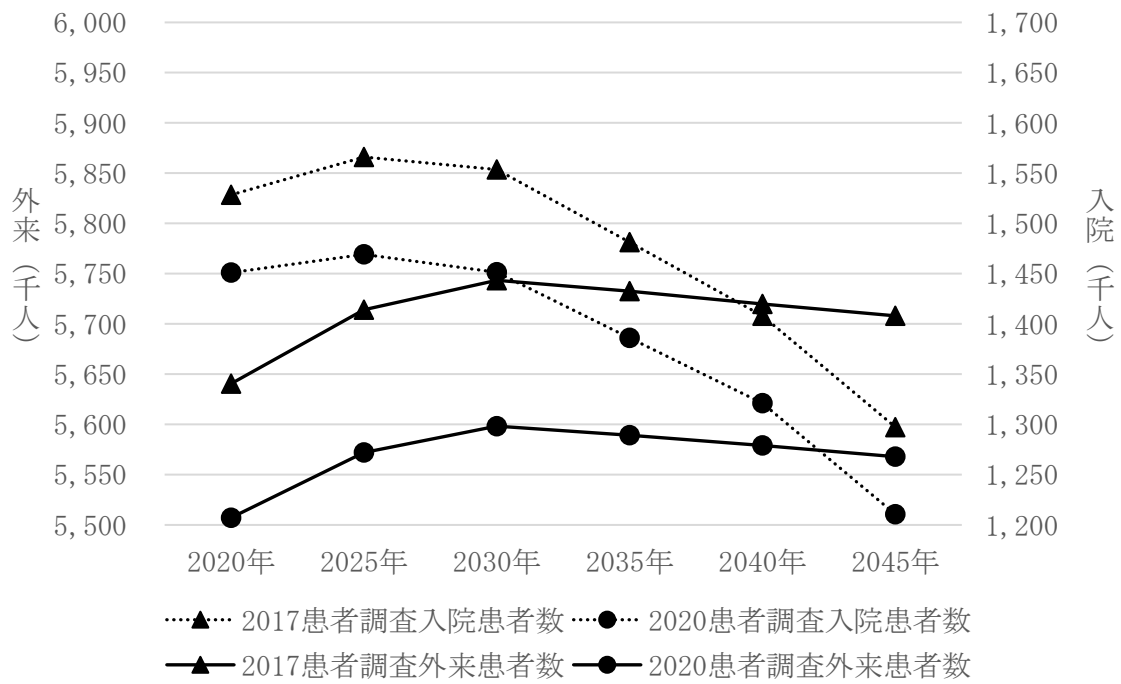


図3 受療率変化による全国患者数推移比較

	2020年入院患者数			2020年外来患者数		
	2017受療率	2020受療率	増減率	2017受療率	2020受療率	増減率
北海道	81,723	72,231	-11.61%	229,249	225,065	-1.82%
青森県	14,016	13,199	-5.83%	66,049	59,249	-10.29%
岩手県	13,643	12,961	-5.00%	57,473	58,786	2.29%
宮城県	19,793	19,140	-3.30%	111,681	88,678	-20.60%
秋田県	11,816	11,690	-1.06%	46,522	45,278	-2.67%
山形県	12,078	11,413	-5.51%	51,897	56,404	8.69%
福島県	18,950	17,179	-9.34%	83,326	75,094	-9.88%
茨城県	26,340	24,143	-8.34%	120,873	123,855	2.47%
栃木県	18,459	15,662	-15.15%	92,616	76,796	-17.08%
群馬県	19,721	18,228	-7.57%	85,227	87,278	2.41%
埼玉県	58,387	53,324	-8.67%	308,482	296,471	-3.89%
千葉県	49,215	46,113	-6.30%	266,360	244,650	-8.15%
東京都	106,146	93,869	-11.57%	606,895	661,967	9.07%
神奈川県	68,446	60,387	-11.77%	406,100	422,368	4.01%
新潟県	24,151	21,184	-12.29%	93,646	95,113	1.57%
富山県	14,490	12,382	-14.55%	45,731	44,400	-2.91%
石川県	15,221	12,354	-18.84%	48,470	43,373	-10.52%
福井県	9,579	8,738	-8.78%	35,223	33,300	-5.46%
山梨県	8,857	8,288	-6.42%	36,432	37,425	2.72%
長野県	19,653	18,327	-6.75%	87,624	89,050	1.63%
岐阜県	18,013	15,947	-11.47%	102,536	95,279	-7.08%
静岡県	32,231	28,745	-10.82%	155,675	173,681	11.57%
愛知県	59,426	52,420	-11.79%	361,394	377,726	4.52%
三重県	17,508	15,668	-10.51%	87,086	84,855	-2.56%
滋賀県	12,969	11,473	-11.53%	59,974	65,070	8.50%
京都府	29,262	24,203	-17.29%	110,073	107,627	-2.22%
大阪府	92,485	82,338	-10.97%	414,710	379,664	-8.45%
兵庫県	58,741	54,287	-7.58%	270,971	267,064	-1.44%
奈良県	14,469	11,805	-18.41%	51,787	56,169	8.46%
和歌山県	11,630	10,238	-11.97%	50,985	48,260	-5.35%
鳥取県	7,039	6,228	-11.52%	26,367	24,949	-5.38%
島根県	9,017	8,294	-8.02%	35,743	33,683	-5.76%
岡山県	22,826	21,411	-6.20%	92,573	88,758	-4.12%
広島県	33,973	30,498	-10.23%	128,887	136,398	5.83%
山口県	23,666	21,149	-10.63%	75,830	70,433	-7.12%
徳島県	12,008	11,467	-4.51%	36,855	34,460	-6.50%
香川県	12,299	11,477	-6.68%	56,426	51,826	-8.15%
愛媛県	18,675	16,943	-9.28%	66,536	65,948	-0.88%
高知県	15,028	13,112	-12.75%	33,905	29,599	-12.70%
福岡県	76,365	70,202	-8.07%	261,499	260,264	-0.47%
佐賀県	13,325	12,354	-7.29%	48,944	43,572	-10.98%
長崎県	24,277	22,019	-9.30%	76,614	65,670	-14.28%
熊本県	31,075	28,165	-9.36%	95,441	84,540	-11.42%
大分県	19,234	16,637	-13.50%	51,665	48,976	-5.20%
宮崎県	16,292	14,697	-9.78%	55,437	55,773	0.61%
鹿児島県	30,271	28,715	-5.14%	84,625	82,653	-2.33%
沖縄県	17,755	15,877	-10.58%	56,186	53,554	-4.68%

表3 受療率変化による都道府県別2020年患者数比較